

元就亡き後の
毛利家を背負った
二人の足跡をたどる！

企画展



毛利元清(来福寺蔵・当館寄託「毛利元清画像」より。展示は複製)

元清と輝元



毛利輝元(当館蔵「毛利元就御座備図」より)

令和7年

7.4(金) ⇒ 9.15(月・祝)

- 休館日／月曜日(7月21日(月・祝)・8月11日(月・祝)・9月15日(月・祝))は開館し、7月22日(火)・8月12日(火)に休館
- 開館時間／9時30分～17時00分[入館は16時30分まで]
- 観覧料／一般210円[160円]、大学生等100円[80円]
※[]内は20名以上の団体料金
- 駐車料金／最初の2時間まで1時間ごとに100円、最初の2時間を超える30分又はその端数ごとに100円
- 駐車台数／一般26台、身障者用2台

《関連講座》

- ①「毛利元就の後継者教育」令和7年7月23日(※)・27日(日)
②「毛利輝元と叔父たち」令和7年8月27日(※)・30日(土) ※各日10:30～11:30
【場 所】下関市立歴史博物館ガイダンス交流室
【定 員】35名(要予約・先着順) ※令和7年7月1日(※)9時30分より電話(083-241-1080)または博物館受付にて受付開始。
【資料代】300円

《展示解説》

- 【開催日】令和7年7月23日(※)・27日(日)、8月27日(※)・30日(土)
※各日11:40～12:10を予定。
※講座終了後に実施するため、開始時間が前後することがあります。
【場 所】下関市立歴史博物館企画展示室
【料 金】企画展観覧料
【予 約】不要(講座を聴講しなくても参加可能)

イベント

下関市立歴史博物館

〒752-0979 下関市長府川端二丁目2番27号
Tel 083-241-1080 Fax 083-245-3310

MORI 元清と輝元 MOTOKIYO TERUMOTO

企画展

毛利家を背負った二人の足跡をたどる。

戦国大名毛利元就の4男元清と嫡孫輝元。年齢の差はわずかであり、兄弟といっても差し支えないほどであった2人は、それぞれの立場で元就亡き後の毛利家を背負っていくことになります。

毛利輝元は、元就の後継者隆元と大内氏の重臣内藤興盛の娘との間に生まれました。幼くして父を失った輝元は、元就从英才教育を受け、厳しくつけられます。元就が病没すると、輝元は名実ともに当主として毛利家を率い、叔父たちの補佐を受けながら天下人と渡り合っていました。

元就と継室乃美の方との間に誕生した毛利元清。元清の子孫である長府毛利家に伝わった元就や乃美の方の書状からは、元清が厳しくも暖かい指導を受けたことがうかがわれます。成長した元清は、両親の期待に応え、毛利家を代表する武将の一人として、若き輝元を助けて活躍しました。

本展は、西国を代表する大名となった毛利家を支え、難局にわたった2人の武将の軌跡を紹介するものです。

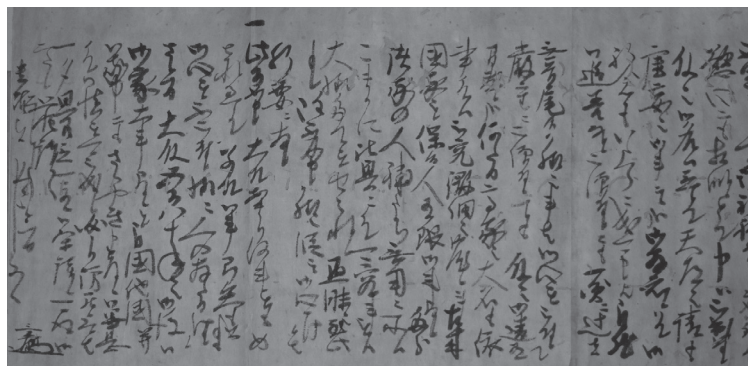
偉大な父であり祖父。
毛利家中興の祖の姿！



「毛利元就画像」

(当館蔵、下関市指定文化財、展示は複製)

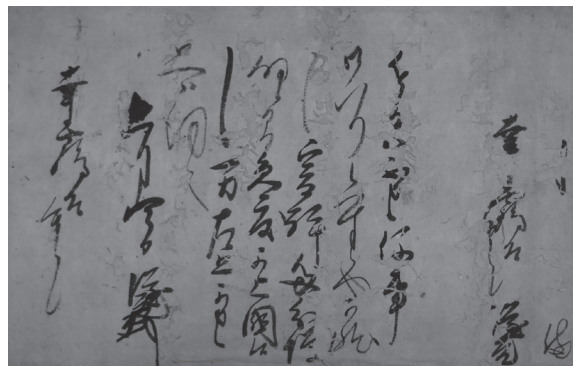
何事にも口出しが過ぎる？ 元就を諫めた禅僧の書状！



「策雲玄龍書状(部分)」

(当館蔵、下関市指定文化財)

幼い我が子に送った手紙！



「毛利隆元書状」

(当館蔵、下関市指定文化財)



下関市立歴史博物館
学芸員 岡松 仁

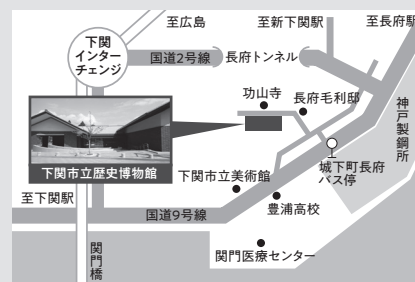
担当学芸員の オススメ！

- 西国を代表する戦国大名が苦心した後継者の育て方について紹介！
- プライベートな書状から読み解く戦国武将の家族関係について紹介！

《交通のご案内》

■公共交通機関

JR下関駅	長府・小月・宇部・秋芳・長門・西方面行きバス (所要時間約25分)	バス停「城下町長府」	徒歩10分
JR新下関駅	バス停「城下町長府」を経由する「マリンランド」または「下関駅」行きバス (所要時間約20分)		
JR長府駅	バス停「長府駅前」から下関方面行きバス (所要時間約10分)		
■自動車	下関I.C.	下関市立歴史博物館	
	堀の浦方面へ進み、国道9号線経由(所要時間約20分)		
	長府方面へ進み、国道2号線経由(所要時間約15分)		



下関市立歴史博物館

〒752-0979 下関市長府川端二丁目2番27号
Tel 083-241-1080 Fax 083-245-3310